

# 令和6年度都立葛飾野高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
<b>国語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分析力、論理構築力などの論理的思考力の育成。</li> <li>・相手や場面に応じた、分かりやすく筋道の通った発言や文章を組み立てる力の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の教科会で年間指導計画について共有をし、論理的思考力の育成について確認し、各科目の授業において実践する。</li> <li>・「書くこと」、「話すこと」の指導について、国語科内での情報共有を実施し、実践につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業において、文章の分析、論理構成の把握度合いをはかる発問や、定期考査での出題に取り組む。</li> <li>・一人一台端末などを活用し、「話すこと」から、「話し合い」を経て自分自身の考えを「書く」ことの指導を行う。</li> </ul>
<b>数学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な見方や考え方の良さの理解</li> <li>・数学的活動から得た知識を用いて数学的根拠に基づいて判断する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発</li> <li>・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施</li> <li>・必要に応じてICT機器を用い、興味・関心を高める工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施</li> <li>・大学が行っている高校生のための理数に関する講座への参加</li> </ul>
<b>英語</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」「自分の考えを述べること」の指導の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情に寄り添ったり、文中で使われている比喩表現に注目させるなど、よりintensiveな読み方をしていく。文章の内容を理解すること自体がゴールではなく、リーディングを通して自らの考えを深めることが重要であると意識させるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目の特性に応じて、プレゼンテーションによるパフォーマンステストを実施する。</li> <li>・題材に関連した意見を述べたり、英語でコメントし合う活動を通じて書くことへの指導に繋げる。</li> </ul>
<b>理科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい知識を身につけ、世に蔓延する疑似科学に騙されないような科学リテラシーの習得。</li> <li>・理科教育を通じて得られる論理的思考力や分析力などの向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然現象に触れ、自ら学び探究する姿勢を育む教育を行う。</li> <li>①実験や課題研究等の充実。</li> <li>②新聞や論文等の資料を活用した授業の導入。</li> <li>③学校外の施設訪問やフィールドワークの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験結果から得られる情報の取捨選択の方法やレポートの書き方などを徹底的に指導する。</li> <li>・自ら問題を見出し、それを解決する思考プロセスを身につけさせる。</li> <li>・他者の受け売りではなく、自分の言葉で自然現象について議論する力を身につけさせる。</li> </ul>
<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本的な知識の定着を図る授業の実践。</li> <li>・生徒自身が様々な視点や考えに触れる対話的・実践的な活動の充実。</li> <li>・興味・関心を高める授業の実践。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着を図るため授業内に小テストを実施する。定期考査前には単元ごとの問題演習に取り組みせ、基礎・基本的な学力の伸長を図る。</li> <li>・教科会を充実させ積極的に意見交換を積極的に行う。また、相互授業見学を推奨し授業の質の向上を目指す。</li> <li>・各史資料や視聴覚教材等を積極的に活用する。</li> <li>・授業時には発問を工夫(タイミングや内容)しグループディスカッションを取り入れる。適切に対話的な活動が行われているか精査する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校の公開授業を参観することで、発問・グループディスカッションなどテーマ設定についてより深く考察する。</li> <li>・異校種(特に中学校)の公開授業に参加することで、中学校社会科との接続を意識し高等学校における地歴公民科教育の充実を図る。</li> <li>公開授業を積極的に行い、他教科の先生方からの指導をいただくことで授業力向上を目指す。</li> <li>・単元の内容によっては、外部講師を招いての講義や社会教育機関と連携した授業を行い、生徒の知的好奇心を刺激するとともに教員自身の授業力向上を目指す。</li> </ul>